

平成17年度 第2回マナーに関するアンケート結果と考察

1月実施

調査人数

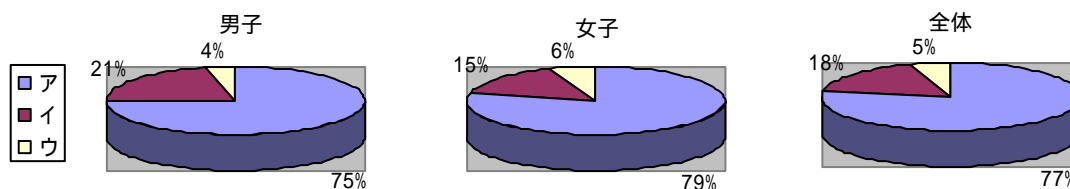
1年	男子	76名	女子	104名	計	180名
2年	男子	94名	女子	90名	計	184名
3年	男子	85名	女子	67名	計	152名
全校	男子	255名	女子	261名	計	516名

1 あいさつについて

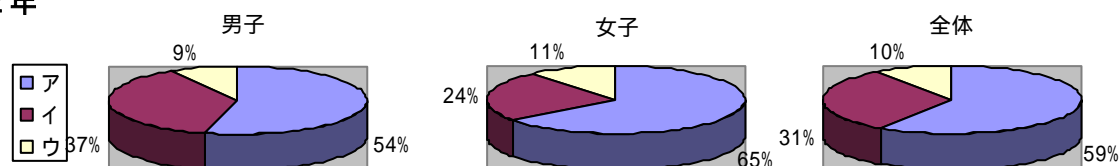
先生や来校者，友達や先輩・後輩に対して

ア 進んであいさつができる イ 相手がしてくれたらあいさつをする ウ ほとんどあいさつをしない

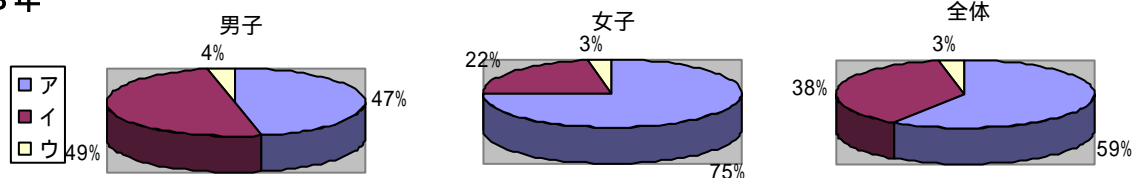
1年



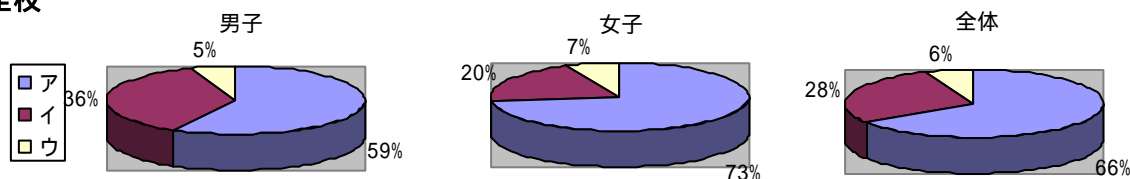
2年



3年



全校



【考察】

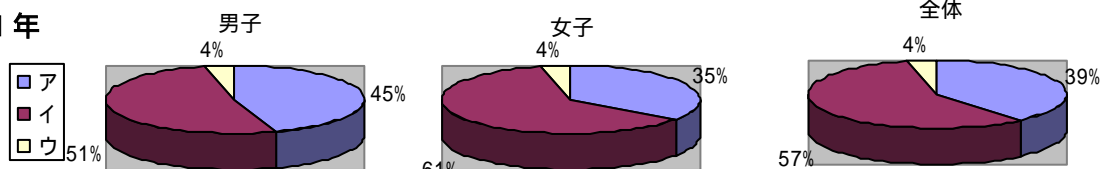
「進んであいさつができる」は6月調査と比べると1・2年生ともに数値を下げた。女子は例年になく低い。特記すべきは3年男子が1年次43%から59%と大きくポイントを上げたことである。木太中は挨拶のいい学校である，という潜在的意識は高まっているので，「あいさつ日本一」をキャッチフレーズし，生徒会とともに工夫しながら取り組む必要がある。

2 言葉づかいについて

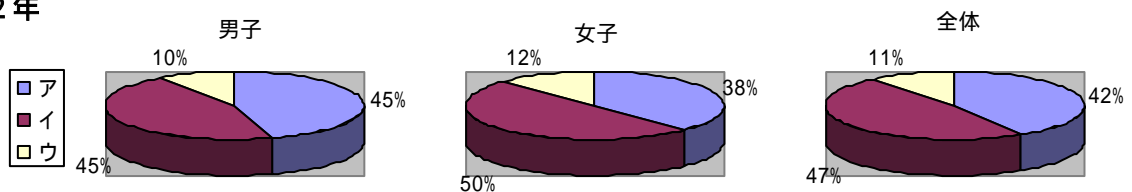
先生や先輩・後輩にたいしてその場に合った適切な言葉づかいが

ア きちんと使い分けができる イ 少しは使い分けができる ウ ほとんどできない

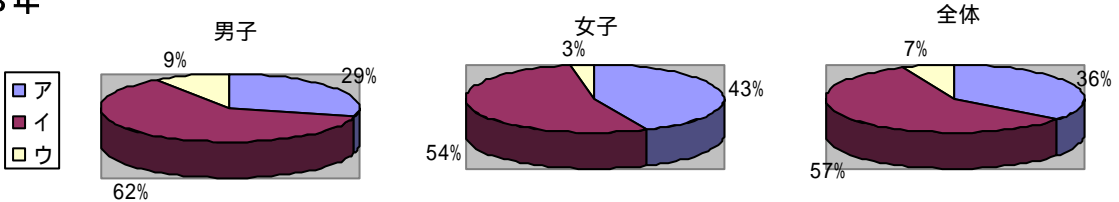
1年



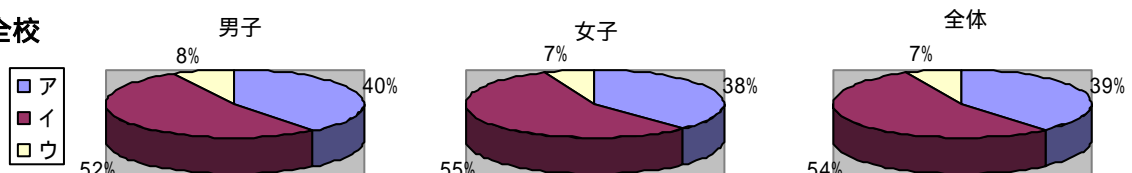
2年



3年



全校



【考察】

「きちんとして使い分けができる」は 39%と高くはないが、過去の調査の中では1番高い数値が出ている。3年男子が29%と低く入試の面接を考えると心配である。全校で見ると女子が少しではあるが毎年男子より数値が低い。正しい遣い方の学習ができていないことと、男言葉の流行が起因しているのではないかと感じる。

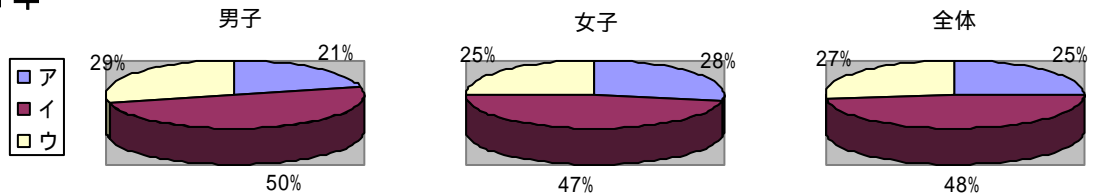
日常生活の場面で根気よく指導しているが、言葉づかいを高める指導と学習の適切な場が見いだせないことが課題である。

3 私語について

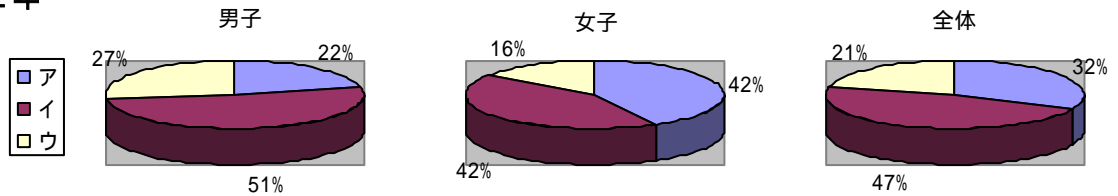
集会・授業中で話をしてはいけないときにお喋りを

ア ほとんどしない イ 時々する ウ よくする

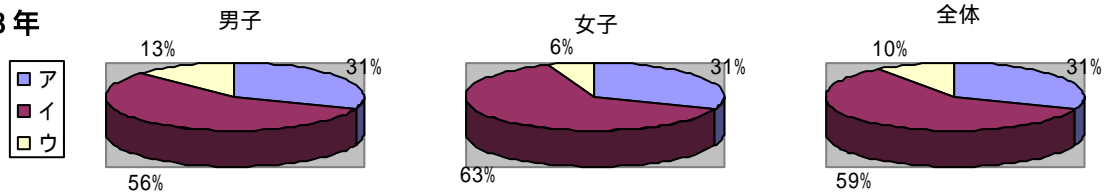
1年



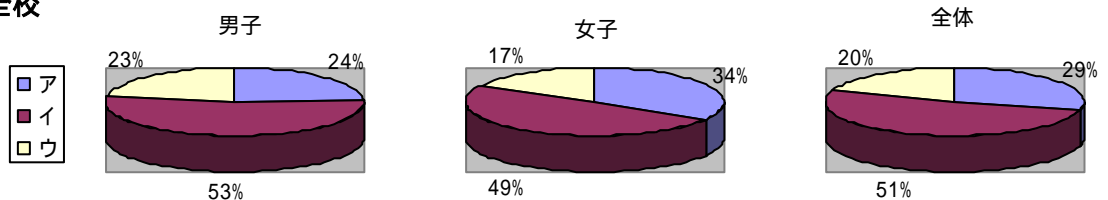
2年



3年



全校



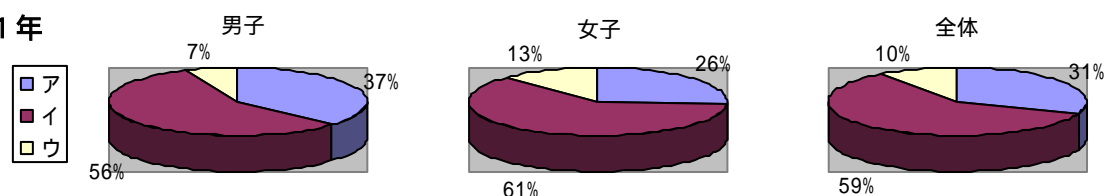
【考察】

6月調査より「ほとんどしない」は4ポイント上がったが、前回の考察で次回30%を目標にしたが1ポイント足らなかった。しかし「よくする」は2ポイントと少しではあるが下がった。過去の同時期と比べると「ほとんどしない」はH15:23%、H16:27%。「よくする」はH15:25%、H16:24%であり、よくなっている。全校集会で取り上げ、学年・学級で話し合ったり指導したりした効果が少しはあったと思われる。教科の指導内容・方法、学習への意欲・関心、教師の力量なども関係するので研修を積むと共に、生徒には中学生として、学習に対する自覚を育てていきたい。

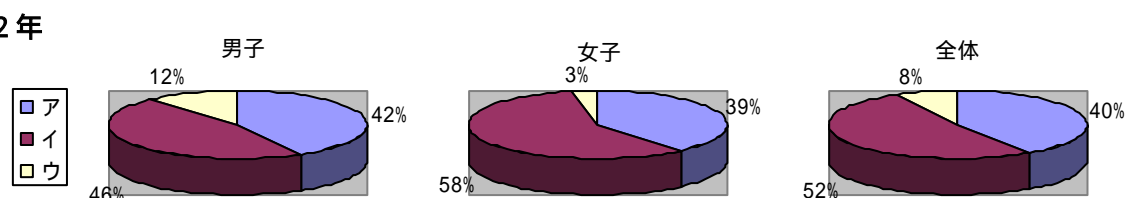
4 清掃について

ア きれいにするためによくする イ いちおう時間内は適当にする ウ さぼったり遊んだりしてほとんどしない

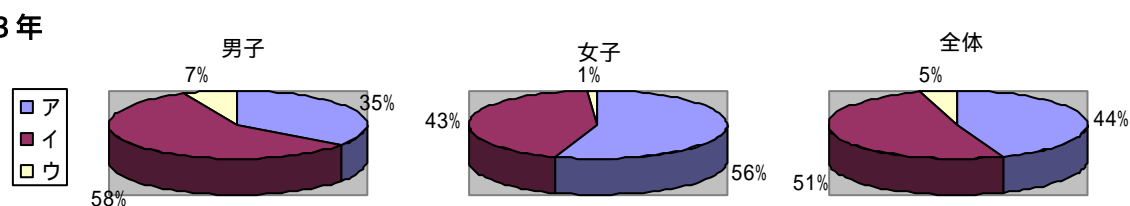
1年



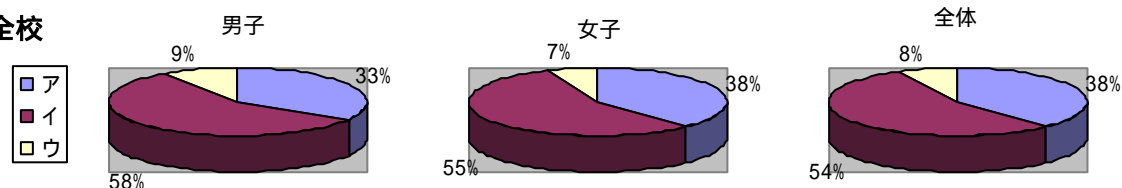
2年



3年



全校



【考察】

6月調査と比較すると「きれいにするためによくする」は9ポイント向上した。学年・男女別にみると、2年は男女ともよくなっている。特に3年女子は18ポイントも上がった。

1年女子については「さぼったり遊んだりしてほとんどしない」が13%と高いので、対策を生徒と共に考えていきたい。

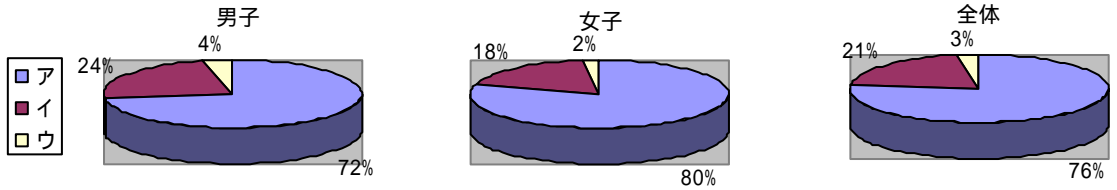
清掃については後半から、委員会活動、学年団、テトラSでと取り組んだ成果が表れている。

5 身だしなみについて

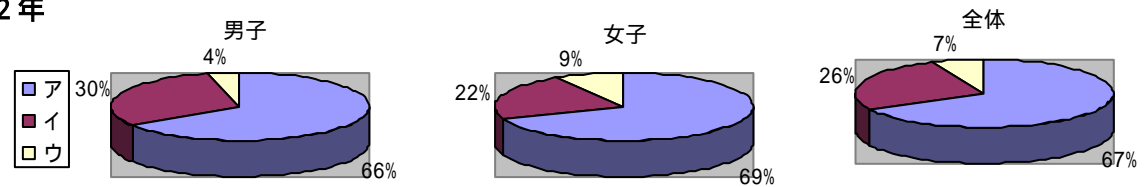
ネーム・校章・学年章は付けられているか。靴のかかとを踏みつけていないか。
 シャツをズボンの中に入れていないか。スカートの長さは標準であるか。

ア ほとんどできている イ 時々忘れてたり注意を受けたりするがだいたいできている ウ ほとんどできて
 いないく、よく注意を受ける

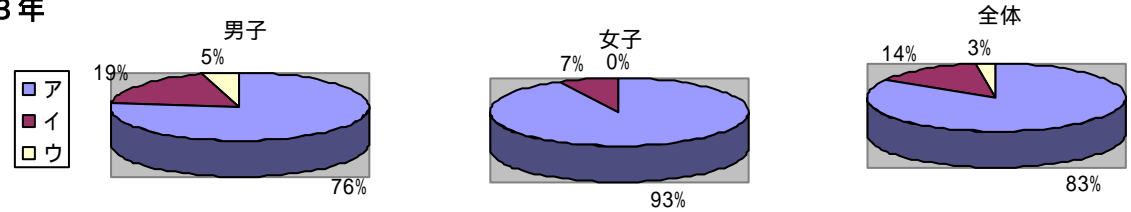
1年



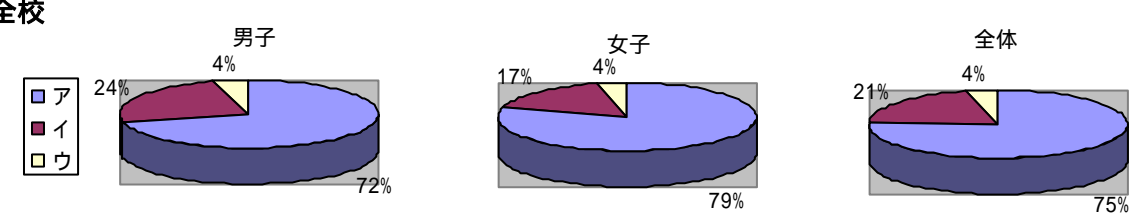
2年



3年



全校



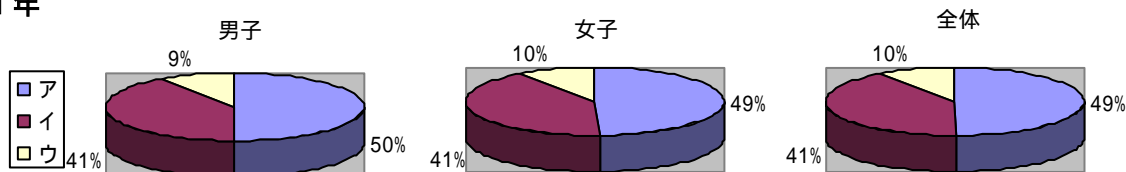
【考察】

「ほとんどできている」は6月調査より+1ポイント、昨年より+10ポイント上がりよい傾向になっている。

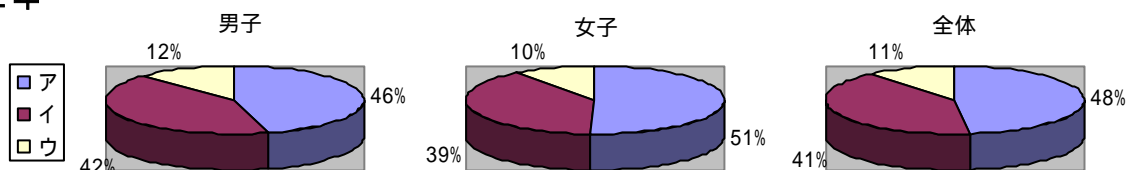
学年で見ると1年生もよいが、3年生が最もよく83%、女子においては93%と高値である。2年生については昨年の1年生次では77%とよかったが67%で-10ポイント下がった。やはり中だるみの気持ちが出たのであろう。2年生に限らず通学服は、ユニフォームであり着こなしの基本なので、きちんとした身だしなみを身につけてもらいたい。

マナー5項目についてア・イ・ウの割合

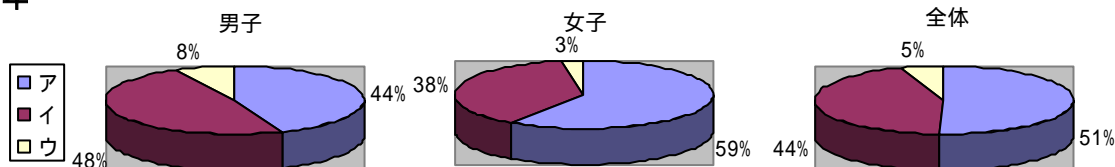
1年



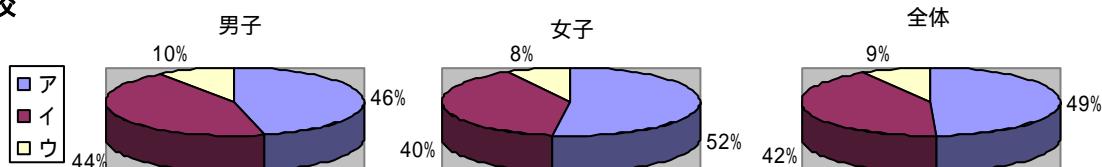
2年



3年



全校



【全体考察】

全校のア群（よい）を過去と比較すると、H15：43%、H16：48%、H17：49%と向上はしている。目標の50%には惜しくも届かなかったが後少しである、来年度は是非達成したい。

「あいさつ」については日本一を目指すことをキャッチフレーズとし、挨拶を中心にマナーの向上を図っていることもあり他項目に比べ高いが更に数値を上げていきたい。また、日本一を目指す意識が途切れないことが大切なので、生徒会中心で毎月曜日に門で挨拶をしているようなことを今後も生徒会から知恵をもらい生徒とともに考えていきたい。

保護者アンケートで一番多かったのは「礼儀が身に付き、あいさつがよくできる子ども」を育てたいであった。今後も保護者（地域）・生徒とともに、木太中の特色になった「あいさつがよくでき、マナーのいい学校」を推進することが、規範意識をしっかりとった心豊かな人に成長してくれるはずである。